

なんでも学術！なんでも回答？ よろず勉強会

第46回

【講師抄録】 時は1990年代。安全性が高く、多くの細菌をカバーしていることを売り文句に次々と開発され、風邪や予防のため？と数多く処方されている第3世代経口セフェム系抗菌薬。慢性的な気道感染症に抗菌効果以外の効果が報告され、それを免罪符？に長引く鼻炎や咳、痰のある患者に漫然と処方されたり、3日の内服で効果が7日間持続するとし、風邪処方に混ぜられてしまいがちのマクロライド系抗菌薬。痛みや咳、発熱などの症状がひどいときにいいかもしれない？といわれ、やたらと使われてしまっているキノロン系抗菌薬。

そして、昭和が終わり、平成も終わる2018年。耐性菌問題は入院での重症患者での問題だけではなく、日常外来診療でも問題となり、新しい抗菌薬の開発も限界とされ、現代は今や【抗菌薬ゆとり時代】から【抗菌薬衰退時代】に突入している。

このままでは肺炎で治療できる抗菌薬もなくなり、これまでのように手術や出産やスポーツなども安心してできなくなる。抗菌薬の9割は点滴ではなく、内服薬。つまり、外来診療における感染症診療を見直さないとこの世界的人類の危機を回避することはできない。

この未来を変えるのは、日々、医療の臨床最前線で多くの目の前の患者を外来診療をしている我々が、この現状を認識・理解し、実践するしかない。変えるのは、権威でもカリスマでもなく、現場の我々でしかない。これまでと同じで困っていないという医療者は、今こそ現実を見直し、その知識と経験をブラッシュアップするターニングポイントとしましょう！難しいことをわかりやすく、そして、楽しく、明日の診療に即実践できる知識の「気づき」と「学び」とともにシェアしあいませんか？

テーマ

こどもとおとの外來感染症入門塾

～あなたのその抗菌薬、考え方直してみませんか？～

講 師

ながたクリニック・院長 永田 理希 先生

と き

2018年10月3日(水)午後7時30分～午後8時30分

と こ ろ

石川県地場産業振興センター 本館3階・第6研修室

対 象

医療関係職など どなたでも (参加費無料、定員50人)

申込み

10月1日まで(講師の先生への質問がある場合は、9月26日まで)に、
参加申込書に必要事項をご記入いただき、FAX・メール・お電話でお申し
込みください。

主催 石川県保険医協会／学術・保険部

2018年10月3日（水）よろず勉強会

FAX用参加申し込み書

FAX：076-231-5156／締め切り：10月1日（月）まで

◆医療機関名 _____

◆氏名 _____

◆講師の先生に聞きたいこと _____

感染症教育・啓蒙講演に13年の
実績のある感染症予備校講師

講師

永田 理希 先生

ながたクリニック 院長
加賀市医療センター 感染制御・抗菌薬適正指導顧問
感染症俱楽部シリーズ 統括代表
北陸感染制御コンソーシアム Strategists 代表世話人
国立金沢大学 医薬保健学域医学類（医学部）非常勤講師
感染制御専門医・抗菌化学療法認定医・耳鼻咽喉科専門医



『町医者 AMR アクションプラン』

Antimicrobial resistance

～変えるのは我々しかいない～



主催 石川県保険医協会

電話(076)222-5373 FAX(076)231-5156 E-mail : ishikawa-hok@doc-net.or.jp